

8/5

ビーチに新しい遊具！建設協会へ感謝状

8月5日（水）、様似建設協会の地域貢献事業に対し、荒木町長から池田尚登会長へ感謝状を贈呈しました。同会には様似建成会（同協会青年部）とともに、親子岩ふれ愛ビーチに新たにキッズランド（ブランコや滑り台などの複合遊具）を設置していただきました。

池田会長は「様似の景勝地なので、ここを訪れる子どもたちが、この木製遊具で安全に楽しく遊んでくれれば嬉しいです」と話されました。



アポイの火まつり会場全景
～高所作業車のゴンドラから～

8/5

ふれあいキャンプ大会への支援 手塚・出口・岡田共立JVへ感謝状

8月5日（水）、「西様似地区山地災害重点地域総合対策工事」を請け負う手塚・出口・岡田共立経常建設共同企業体の地域貢献事業に対する感謝状贈呈式を開催し、代表出席した4名へ荒木町長から感謝状を贈呈しました。

同企業体には、7月に行われた町子連主催のふれあい少年少女キャンプ大会において、各種設備の提供や設営・運営の手伝いなどを実施していただきました。

三橋幸一朗現場代理人（手塚組）は「子どもたちの笑顔に元気をもらいました。これを機に、多くの子どもたちが建設業界に興味を持ってもらえれば」と話されました。



↑左から手塚組の北上鉄人代表取締役、岡田共立興産の真壁健工事部長、出口組工事部の高村哲也さん、手塚組の三橋幸一朗現場代理人

8/9

夏の風物詩「第37回アポイ大盆踊り」

8月8日（土）・9日（日）の2日間、中央公民館前駐車場で夏の恒例行事「アポイ大盆踊り」が開催されました。会場にはビアガーデンやくじ引きなどの露店が並び、アポイ太鼓メンバー12名が交代で奏でる力強い演奏に合わせて、浴衣姿の子どもや大人が元気に踊り、交流を深めました。2日目の最後には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会も行われ、大いに盛り上がりしました。



8/24

池田建設㈱の地域貢献事業に感謝状贈呈

8月24日（月）、「塩釜地区 緊急総合治山工事その2」などを請け負う池田建設㈱の地域貢献事業に対し、荒木町長から池田厚志代表取締役社長へ感謝状を贈呈しました。

同社には、津波避難路となっている町道様似公園線に渋滞防止のための啓発看板を2箇所設置していただきました。池田代表取締役社長は「今回、夜間でも看板が目立つようソーラーライトも設置しました。これにより避難時の渋滞が緩和され、安全にスムーズな避難ができるよう期待しています」と話されました。



←町道様似公園線に設置された
渋滞防止の啓発看板

7/30

エンルム海岸に黄色の波 旗のなみ作戦

7月30日（木）、昨年交通事故が発生したエンルム海岸（国道336号線沿い）付近にて、町と町内の交通安全関係4団体が共催する交通安全旗のなみ作戦が実施されました。

当日は参加者が沿道に立ち、黄色の旗を波のように掲げて通行車両へ安全運転を呼びかけ、交通安全と事故防止への決意を新たにすることができました。

悲しい事故を二度と起こさないため、一人ひとりが交通ルールを守り、思いやりのある運転と行動を心がけましょう。



8/3

きれいな町並みに、建設協会による草刈り

8月3日（月）、様似建設協会（池田尚登会長）による町道様似公園線（栄町）の草刈り作業が行われました。

この活動は、毎年お盆のお墓参り時期に墓地周辺の環境を良くしようと、地域貢献活動の一環として行われています。

炎天下の中、作業には11社15名が参加し、町道の景観整備にご協力いただきました。



8/5

様似の未来を考える総合振興審議会を開催

8月5日（水）、中央公民館で様似町総合振興審議会を開催しました。会議では、様似町まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略の最終評価と第3期に向け、アポイ岳ジオパークの教育・観光活用をはじめ、宿泊施設の課題や移住・定住の促進、農業振興について具体的な意見が交わされました。

また、厳しい人口動向を踏まえつつ、官民連携や若い世代への支援の重要性が共有されました。委員から寄せられた貴重なご意見や提言は、今後の持続可能なまちづくりと計画策定に反映させていただきます。



アウトドアイベント「HIDAKA TRAIL DAYS」が 今年も開催！



様々なアウトドアショップや地元食材・各町の料理が味わえる飲食ブースが出店するほか、自然を満喫できる体験プログラムも盛りだくさん！楽しみながら環境保全に貢献でき、トレイルカルチャーにどっぷり浸かり、ハイキングがもっと好きになる2日間！ご家族やご友人と一緒に、ぜひお越しください！みなさんのご参加お待ちしております！

日時：9月26日（土）・27日（日）

会場：アポイ岳ファミリーパークキャンプ場

※イベント等の詳細はチラシ等でお知らせします

●問い合わせ／商工観光課商工観光係（Tel 36-2119）



アポイ岳ジオパーク
トピック&ニュース
Mt. Apoi Geopark Topics & News

ジオトピ



アポイ岳とアポイ岳ジオパークビジターセンターで イベントを開催しました

8月のお盆休み期間、アポイ岳ジオパークビジターセンターで「9日間のイベント」を開催しました。

アポイ岳では登山口から頂上までに隠された5つのスタンプを探し当てる「アポイ岳ジオパークDEスタンプラリー」を実施し、38名のかたがスタンプをコンプリートしました。

また、屋内では「ガラスの浮き球と貝殻の風鈴作り・海ゴミを使った万華鏡作り・石の世界を見てみよう（館内案内）」を行い、68名が参加され、期間中多くの家族連れでにぎわいました。



様似町からのお知らせを配信しています！みなさんの登録をお願いします！



登録制
メール



▼スマートフォンの場合 ▼ガラケーの場合

様似生まれの競走馬「カツテナイオイシサ」 高知競馬で3冠達成！

町内のYMホースレーシング牧場(田代・中尾勝さん)で生まれ育った競走馬「カツテナイオイシサ(牡3)」が、8月2日(日)に高知競馬場で行われた重賞レース黒潮菊花賞(3歳・1900m)で見事優勝！

最内枠からのスタートで他馬に囲まれる厳しいレース展開の中、逆境を跳ね返し圧倒的なポテンシャルと勝負根性で勝利。

3月の土佐春花賞から負けなしの6連勝で、高知史上6頭目の三冠馬という大快挙を成し遂げました！

💡強さのヒミツは「のびのび自立系」！？

実は子馬の頃、牧場では「おっとりしたおとなしい子」だったというカツテナイオイシサ。YMホースレーシングでは、生まれた直後から母馬と子馬をそれぞれ1頭の独立した馬として扱う育成方針を徹底しているとのこと。

早期に自律心を持たせることで、環境の変化やプレッシャーに動じない強い精神力と判断力が養われました。それに加えて生来の素直な性格も相まって、レースでの自在な走りに結びついているのではないかと、中尾さんは話します。



💬生産者 中尾勝さん・由香さんインタビュー

「厳しいレース展開を跳ね返して勝ってくれた時は本当に嬉しかったです。様似町は地域おこし協力隊として来てから開業するまで、みなさんが温かく支えてくれた大好きな町です。自分たちの手掛けた馬が活躍し、少しでも町に明るい話題を届けられてよかったです。今後は町のみなさん、特に若い世代の人にも馬や牧場の仕事をより身近に感じてもらえるような発信にも、取り組んでいきたいと考えています。ぜひみなさん牧場に遊びにきてください！」

牧場見学を希望されるかたはTel 090-2567-4461(中尾勝さん)まで！



人懐っこい人気者！ミニチュアポニーの「はじめ君」に会いに来てね♪

ほほえみ★マイルストーン

01

02

03



8月に

1歳・2歳・3歳になられたお子さんを
紹介しています。
(承諾をいただいたかたのみ)



遠藤なのあちゃん(1歳)

写真の提供について、ご協力いただきありがとうございました！